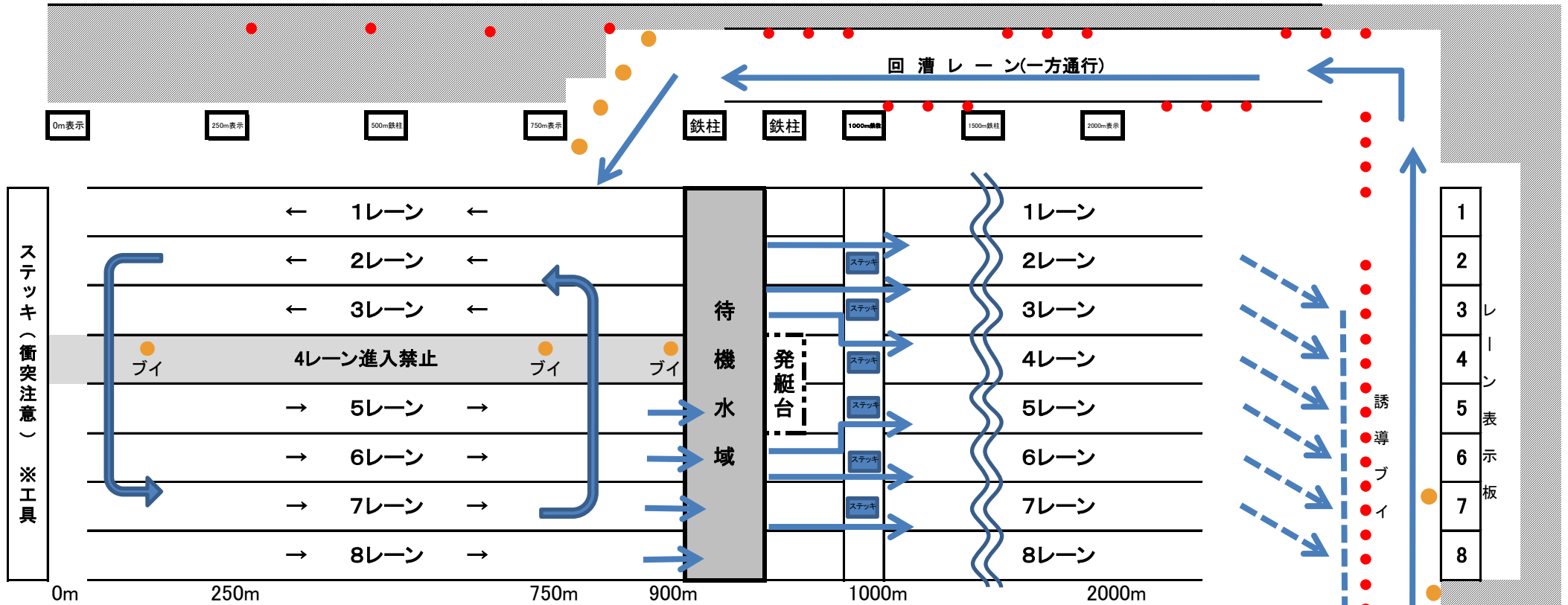


航行ルール② (レース時)



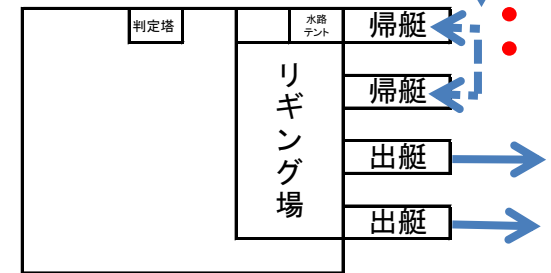
- ① 出艇後は誘導ブイとレーン表示板の間を通り回漕レーンへ進入し、スタート方向へ進むこと。
- ② 900m付近の鉄柱を超えたところから誘導ブイに沿って練習水域(1~3レーン)へ進入すること。
- ③ 100m付近のブイを目安にターンすること(0mのステッキ等へ衝突しないよう注意すること。)
- ④ 練習水域の途中でターン(4レーンを横断)する時は、周囲の艇の動きに十分注意し、接触・衝突のないようターンすること。
- ⑤ 750m付近のブイを目安にターンすること。(待機水域へは進入しないように注意すること)
- ⑥ 自己のレースが近づいたら待機水域へ進入すること(風で練習水域へ流されないように注意すること)
- ⑦ 審判からの呼び込みがあり次第、ステッキの脇を通り自己のレーンに入り、バックローでスタートへつけること。
- ⑧ ゴール後は、誘導ブイに沿って、帰艇棧橋へ向かうこと。

※リギングチェック等ですぐに棧橋に戻る場合

レーン表示板の前を1レーンまで進みターンし、帰艇棧橋に戻ることに。

※練習水域で艇の故障等が発生した場合

- (1) 軽微な故障の場合は、0mスタート施設及び1000m修理棧橋に工具、艇台を用意しているので利用して下さい。
- (2) 一度リギング場に戻らなければならないときは、近くの救助艇に報告し、許可を得てからレースの合間に8レーンを航行して帰艇棧橋に戻ることに。



部分は進入禁止区域

